

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM



ゴールデンウィーク アマゾン子どもフェスティバル



世界の民族と文化 好評開催中

開館時間 9:00~17:00

毎週土曜日は、小・中学生入館無料!

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 57

Quarterly

第18回出羽庄内国際村

ワールドバザール

みんな来てね! 待ってます~

6/10(日)
10時~15時

ステージでは
・大道芸(中国雑技)
(11:00~、13:00~の2回)
・歌や楽器の演奏など

正面玄関前では
大人気の
フリーマーケットなど

交流広場では、
おいしい世界の
料理や雑貨などの
販売

館内では
バザーや国際交流団体の紹介など

ボランティアスタッフ募集

ワールドバザールのボランティアスタッフを募集しています。都合の良い時間でOKです。スタッフとして参加してみませんか?

○活動時間 8:45~15:30

○活動内容 バザールの準備・運営

※申込みは出羽庄内国際村まで

電話 0235-25-3600

環境にやさしいお祭りにしましょう

ワールドバザールではエコへの取り組みとしてリサイクルしやすいものを使い、ゴミの分別・減量に取り組めます。

○みなさんをお願いします!!

ぜひ、マイはし、マイうつわ、マイバッグを持参してください。みんなの力で環境にやさしいお祭りにしましょう。

あとがき

昨年7月、北アイルランド出身のノーマン・サーブラス氏が、ヘリコプターのような形の愛機「ジャイロコプター」で庄内空港に降り立ちました。機体の全長はわずか5メートル。覆いもなく、まるで空飛ぶオートバイのような小さい飛行機で、誰も達成したことのない世界一周の旅に挑戦しています。昨年の夏にロシアへ渡ろうと庄内まで来ましたが、飛行許可がなかなか下りないまま冬季に入り、ここで足止めとなりました。滞在中は地元の高校などで世界各国の話をしたり、国際村の事業に参加したりと、市民との交流を深めました。またノーマンさんの故郷ラーン行政区から感謝の記しとして、鶴岡市に区の紋章が贈られました。この5月再びロシアへの飛行を目指し来鶴しています。今度こそ無事に庄内を旅立ち、世界一周の夢を叶えられることを期待します。

賛助会員募集中!

国際村では、地域に国際交流の輪を広げ、より広範囲で有益な事業を実施するために、賛助会員制度を設けております。財団の設立目的に賛同され、事業および運営にご支援くださる個人、法人を募集しております。

《年会費》一般/3,000円、高校、大学生/2,000円、小、中学生/1,000円、法人/10,000円

《期間》平成25年3月31日まで

会員特典

- 会報「国際村だより」の送付
- 主催事業のご案内
- 主催事業の参加料割引(10%)
- アマゾン民族館の入館無料



国際村だより もくじ

P 2・3: 出羽庄内国際村事業計画

P 4: ゴールデンウィーク・アマゾン子どもフェスティバル
日本語教室花見
器の会

P 5: せかいの台所 ケニア料理
ワールドコミュニケーションクラブ

P 6: 日本語ボランティア養成講座
コロラド州訪問団・コロラドスタディツアー
鶴岡中央高校生 留学先からのお便り

P 7: 相談窓口、通訳、翻訳業務等の報告
コミュニティ通訳の活動・勉強会

P 8: 出羽庄内国際村ワールドバザール

2012.4－2013.3

出羽庄内国際村の事業計画

(財)出羽庄内国際交流財団は、出羽庄内国際村を活動拠点に、関係団体及びボランティアの方々と協働の組織を核にして、地域の人たちの国際交流の促進を図ります。

また、地域と外国出身の住民が共に安心して暮らしていける環境づくりをめざして、4つの項目を重点に事業に取り組みます。

【国際交流を促進する事業】

交流イベントを開催するほか、交流事業の開催支援を行います。
主催事業は、国際交流関係団体やボランティアの方々を中心に実施し、活動の輪を広げていきます。

- ワールドバザールの開催
- 音楽祭の開催
- 交換留学生への支援
- 外国からの訪問団の受入
- 新年を祝う会(交流会)の開催



国際村音楽祭

【国際理解を促進する事業】

様々な国や地域の文化や成立ちなど、間いたり触れたり、実際に体験してみて、知っていただきます。

- 外国語講座の開催
- ワールドコミュニケーションクラブ
- せかいの台所(料理教室)の開催
- 太極拳講座の開催
- 小中学校国際理解事業への協力
- コロラドスタディツアー(中高生、社会人)



コロラドスタディツアー

【多文化共生を促進する事業】

地域住民と外国出身住民お互いが、それぞれの文化や習慣を理解し、共に安心して暮らしていける地域づくりを行います。
在住外国人への支援だけでなく、地域が一体となった「多文化共生」の地域づくりを目指します。

- 日本語教室運営の支援
- 生活相談窓口の設置
- 通訳や翻訳の対応
- 外国人留学生への奨学金
- 多言語生活ガイドブックの配布
- ホームページにおける多言語での情報提供
- 日本語スピーチコンテスト
- やさしい日本語研修会
- 日本語ボランティア養成講座



日本語スピーチコンテスト

【民族文化を学習・研究する事業】

様々な国や地域の民族資料をもとに、人びとの生活やその地域の自然を紹介します。

- 特別企画展の開催
- アマゾン子どもフェスティバルの開催
- やまがたアートライン「東北文化の日」への取り組み



アマゾン子どもフェスティバル

今年度の具体的な取り組み

国際交流事業では

◆ワールドバザール

様々な国々の料理や雑貨の販売、中国の伝統雑技等のステージ、フリーマーケット等、外国出身者と国際交流関係団体や市民が交流する事業です。

◆音楽祭2012

世界の様々な音楽を紹介する事業です。

今年はウルグアイ音楽のコンサートを開催します。

◆外国からの訪問団の受入

外国からの訪問者に、ホームステイや学校訪問、鶴岡の観光地や文化体験等、地域での交流と異文化体験等を予定しています。

6月にコロラド州の中高生訪問団が来鶴します。

◆交換留学生支援

鶴岡中央高校とワシントン州サムナー高校の交換留学を支援します。

◆新年を祝う会(交流会)の開催

日本語を学ぶ外国出身者や日本語教室関係者を主な対象に、コミュニティ通訳や外国語講座の受講生、出羽庄内国際村で活動する関係者の皆様に呼びかけて交流会を開催します。

国際理解を促進する事業

◆外国語講座、フリートーク型講座、実践講座等の開催

英語や中国語、韓国語、スペイン語や、普段触れることの少ない外国語等の講座を開催します。

◆ワールドコミュニケーションクラブ

中高生を対象に、同年代の異文化の子供達との交流の中で、お互いの理解を深めると共に、実際にコミュニケーションする為の英語を学びます。

◆せかいの台所

外国出身の方から料理を学び、その国や地域の文化にふれる講義です。

◆太極拳講座

文化体験として、中国武術の「楊式太極拳講座」を開催します。

◆コロラドスタディツアー

英語実践力の向上と、国際感覚の育成や異文化理解を深めることを目的に実施します。

中高生：7月27日～8月10日

大人：8月3日～8月10日

多文化共生事業では

◆生活相談窓口の設置

家庭のこと、医療のこと、子育てのこと、在留資格のことなど、匿名でも相談できます。

常時対応できる外国語は、中国語、韓国語、英語です。外国出身者だけでなく、地域のどなたでも相談できます。

◆外国人に役立つ情報の提供

在住外国出身者が生活する上で必要な情報の多言語生活ガイドブック・ガイドマップを窓口で配布しています。鶴岡市の観光ガイドの多言語版や東日本大震災情報を多言語で掲載しています。

鶴岡にきた外国人旅行者等への通訳や必要な情報提供に協力します。

◆日本語スピーチコンテスト

庄内在住の外国人の方々が日頃感じていることを日本語で発表し、国や文化の違いを越えてお互いの理解を深めることを目的に開催します。今年は7月15日に庄内町の響ホールで開催します。

◆日本語ボランティア養成講座

県の国際交流協会との共催で、日本語を母語としない方々の日本語学習を支援するボランティアを要請する講座を開催します。

◆やさしい日本語研修会

県の国際交流協会との共催で、災害が起きたとき、外国人被災者に迅速、正確に災害情報を伝える手段としてどの国の人にも理解できる「やさしい日本語」による情報発信についての学習会を開催します。

◆私費留学生支援

鶴岡市の高等教育機関で学ぶ私費留学生のうち、学業成績が優れかつ経済的援助を必要とする者に対し外国人留学生奨学金を支給します。

民族文化学習研究事業

◆特別企画展

「世界の民族と文化展」を開催しています。

◆アマゾン子どもフェスティバル

ゴールデンウィークと夏休みに、子どもを対象とした学習事業を開催します。

◆山形アートライン・東北文化の日

県内の博物館等と連携し、10月27日(土)及び28日(日)の「東北文化の日」に合わせ、関連イベント開催期間(10月27日～11月25日)に事業を計画します。

GWは
アマゾンで
遊んだよ!

アマゾン子どもフェスティバル



親子でアマゾンを楽しんでいただこうと、毎年ゴールデンウィークに合わせて企画している「アマゾン子どもフェスティバル」が5月3日に行われ、たくさん子ども達がアマゾン体験を楽しみました。「アマゾンの動物達とインディオ」をテーマに、スライド上映を見ながらクイズラリーに挑戦! インコの羽根や、動物の牙等から頭飾りや首飾りといった装飾品が作られる事や、食糧としての生き物達についてなどインディオの生活と動物達の深い関係について興味深く学びました。

スライドで見た世界を実際に体験してもらおうと、本物のインディオの装飾品をつけるコーナーや、色鮮やかな羽根を組み合わせ



オリジナルの頭飾りを作るコーナー、そして動物達を捕る弓矢の体験コーナーなどを設けました。その中でも特に人気だったのが弓矢。

吸盤付きの安全な弓矢で動物の的を射るのですが、的に弓矢が当たる度に「おー!」という歓声が上がっていました。的に当たった回数分、アマゾン民族館オリジナルシールがプレゼントされ、全10種類を集めるまで頑張る子どももいました。

8月11日(土)には、「夏休みアマゾン子どもフェスティバル」を行います。さらに詳しくアマゾンについて学びますので、ぜひ参加してくださいね!



日本語教室のお花見

4月22日(日)、毎年恒例、国際村日本語教室の花見が行われました。いつも桜の花の見頃の時期をねらってお花見の期日を設定しようと思うのですが、天気を予測するのは至難の業。今年は平年より遅い時期を設定しましたがそれでも早すぎてしまいました。気温は低く風も強かったです。花はまだ三分咲きでした。この日、日本語教室の学習者、指導ボランティアのほか、その家族や友人など、約20名が参加しました。皆さん手作りの料理や花見屋台の名物、飲み物など、一品を持ち寄り、桜の木の下で交流しました。少し寒い天気でしたが、皆さん楽しく半日を過ごし、日本文化の一つを体験しました。



参加者の笑顔



器の会

日本の家庭料理を学ぶ「器の会」は、日本語教室の学習者や留学生を対象に、春・秋の年2回行っている文化体験講座です。5月20日には春の器の会が開講され、9名の参加者が一緒に、いちじく寿司、鱈のあんかけ、ふろふき大根、すまし汁の4品を作りました。いちじく寿司は、器の会講師が昔家庭でよく作っていた料理。のり巻きに切り込みを入れると中から鮮やかな色が見える一品で、その美しさに参加者も楽しんでいました。今回は天神祭の前ということもあり、華やかに見える料理を作ろうという事で、すまし汁にはきれいな柄・色の麩を使用。料理の作り方を学び、味わうだけでなく、目でも楽しむ日本の家庭料理を学ぶことができました。次回は秋の味覚たっぷりの器の会です。



せかいの台所 ケニア料理

コウコさんの台所

4月21日(土)、今年度最初のせかいの台所が開催されました。今回は初めてのケニア料理。参加者は11名でした。講師を務めたのは、ケニアのキスム出身で来日2年目のコウコ・エディスさんです。

メニューは、ピラウ(ケニア風ピラフ)、鶏もも肉のココナッツ煮、マンゴーとパッションフルーツを使ったフレッシュジュースでした。

ケニア料理は、様々な珍しい種類のスパイスを豊富に使ったものでした。特に、ピラウマサラと呼ばれるピラウ専用のスパイスは、販売しているお店を探すのに苦労しました。ケニア料理はインド料理の影響も受けているせいか、カレーパウダーも使った料理だったので、日本人には馴染みのある味に仕上がりました。どれもとても美味しい料理でした。このように、せかいの台所では、毎回違った国の料理を学ぶことが



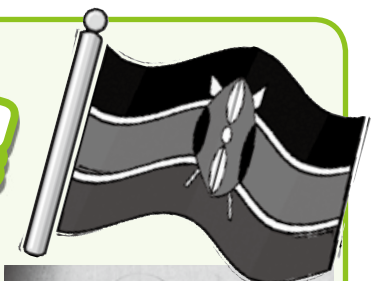
は馴染みのある味に仕上がりました。どれもとても美味しい料理でした。このように、せかいの台所では、毎回違った国の料理を学ぶことが

できます。日本では滅多に目にすることのできない食材に触れつつ、文化を学べるのでとても魅力的な講座です。

せかいの台所年間会員はまだ募集中ですので、この機会にぜひ参加してみませんか? 料理や日程に合わせてその都度申し込む一般参加も歓迎です!

せかいの台所の年会費は、国際村の賛助会員費を含めて1万円。せかいの台所(年6回)に参加できるほか、語学講座など主催事業への参加料が一割引になったり、アマゾン民族館への入館料が年間無料など、お得な特典があります。今年度のせかいの台所は、6月24日(日)にバン格拉デシュ料理、他にも、ウガンダ、タイなどを予定しています。皆さまのご参加をお待ちしています。

また、この事業で作った料理のレシピは、国際村のホームページで見ることができます。自宅で試してみたい方は、ぜひチェックしてみてください。



ワールドコミュニケーションクラブ活動報告

これまでは、「英語交流クラブ」という名前で活動していたこのクラブ。今年度から、さらに世界中との交流を深めようということで、「ワールドコミュニケーションクラブ」と、名前を変え生まれ変わりました。英語や国際交流に興味のある中・高校生が月に1回集まって、様々な活動をしています。

今までは、海外からの訪問団との交流や、英語でビデオレターを作ったり、お菓子作りや、アメリカの行事を学んだりしてきました。ファシリテーターは、三川町でALTをしているメーガン・クレイヴェンさん。いつも楽しく英語やアメリカの文化を教えてください。



最近行ったクラブでは、イースター(キリスト教の復



活祭)について学び、さらにイースターエッグ作り、エッグハントをしました。これからも楽しい活動を予定しています。6月はコロラド州から訪問団が来るので、一緒に活動をする予定です。

活きた英語を学べるだけでなく、海外にお友達を作ることができます。英語が好きな方、交流の輪を世界に広めたい方は、ぜひメンバーになって、一緒に活動しませんか? 詳しくは国際村へお問い合わせください!



ワールドコミュニケーションクラブ

活動日:土曜日または日曜日
月に1回(主に午前中)
対象者:中学生~高校、高専生
年会費:2,000円(留学生は1,000円)
指導者:メーガン・クレイヴェンさん

国際村 実施中・予定の事業

日本語ボランティア養成講座 開催中！

出羽庄内国際村では、日本語を母語としない地域住民向けに、日本語を学ぶ場として日本語教室を開いています。昨年度も日本語教室に登録した学習者の数は80人を越え、日本語初心者の方から上級者の方まで、また出身国も様々の多くの方が国際村で日本語を学んでいます。国際村では、小グループやマンツーマンの形での指導をしています。一緒に学習をサポートするのはボランティアの皆さんです。日本語を教えるだけでなく、お互いの文化を学びあったりと、いろいろな文化の共生の場にもなっています。

今年度国際村では、(公財)山形県国際交流協会と共催で、日本語ボランティア養成講座を開催しています。全4回講座で、5月20日(日)に第1回目が終了しましたが、今後6月3日、17日、7月1日と続きます。普段何気なく使っている日本語も、教える場合には教え方を学ぶ必要があります。来年度以降も必要に応じてボランティアの養成講座を行う予定ですので、興味のある方は国際村までご連絡ください。

コロラド・中高生訪問団 来鶴6/9～ コロラドツアー2012実施 7/27～

6月9日から17日までアメリカ・コロラド州から、日本語や日本文化を学んでいる10代の生徒が14名来鶴します。国際村では平成21年からこのグループの受け入れをしており、今回で3回目。ホームステイをしたり、地元の学校を訪問をしたりと、地域の人との交流も深めます。

また、7月27日からは中高生の、8月3日からは社会人のコロラドスタディツアーを実施する予定です。2008年から行っている事業で、山形県と姉妹州県であるコロラド州のデンバーを中心に、ホームステイや英語の勉強、広大な自然の中での活動などを行います。



地元の生徒と一緒にサイクリング

鶴岡中央高校ーワシントン州サムナー高校

今年も交換留学が始まりました！

今年で3年目となる、県立鶴岡中央高等学校とワシントン州サムナー高校との交換留学。今年中央高校からは2年生の新橋直樹君が、4月はじめに一人でアメリカに旅立ちました。この交換留学はサムナー高校で日本語を教えているケイ・ジョーンズ先生とその生徒が鶴岡を訪れたことがきっかけではじまりました。日本からの生徒は約3ヶ月間のアメリカでの高校生活を体験、またサムナー高校の生徒も夏休みを利用して鶴岡に滞在するものです。ホームステイやアメリカの高校に通うことを通し、アメリカの文化そのものと英語での生活を体験します。

【新橋直樹君よりお便りが来ました】

アメリカでの生活も、一ヶ月が経ちました。私は、サムナー高校に通いながら、ホストファミリーとの日々を楽しく過ごしています。ここでの生活は新しい発見の連続で、このような機会を与えていただき感謝しています。

私は、生の英語にふれて、発音を習得し、実際に話す

ことで英語を覚える必要があると感じました。

私の英語が通じない、相手の言っていることが理解できないということがあったからです。また、日本との違いをあげればきりが無いほどですが、私が感じた一番大きな違いは、サムナー高校の生徒の一人一人が外向的で、疑問を持てば授業中に質問するなど、学習意欲が高いということです。私が未だに英語を上手く話せないのは、人と話すことが少ないからだと思います。

残りの日々を有意義に過ごすためにも、自分自身がより外向的になり、人とのコミュニケーションを通じて英語力を少しでも向上できるように頑張ります。〈6月末に中央高校に来るグレースさんと〉



国際村の 相談、通訳・翻訳 業務の報告

相談窓口

出羽庄内国際村では、地域に在住している外国出身者や関係者の方々の相談、また外国に関する様々な相談事に対応するため、相談窓口を開設しています。対応は国際村へ来館しての相談と電話相談がメインですが、場合によって出張相談も行っています。

平成24年3月31日現在鶴岡市に在住している外国人登録者は35カ国、約690人です。この中の半分以上は中国出身者です。

平成23年度の相談件数は266件。相談内容の傾向はH22年度と同様で、通訳・翻訳を除くと教育・子育てに関する相談が一番多く寄せられ、二割以上を占めました。その次は家族・家庭の問題、労働関係をめぐる問題、在留資格・大使館関係となっています。外国出身者の日本での滞在が長期になることで、就職や子どもの問題等が多くなる傾向があるようです。

通訳・翻訳

生活の様々な場面で必要とされる通訳や翻訳の依頼も国際村で多く受けています。昨年度受けた通訳・翻訳の

依頼は93件。内容は生活全般に関する依頼が多く、三分の一弱を占めました。その次は医療関係でした。在日歴が長くなると言葉の問題はだいぶ少なくなります、完全に解消されるとは言えません。外国出身者が日本に滞在する期間が長くなればなるほど様々な面で日本人とのコミュニケーションが必要になります。特に日常会話のレベルを超えた内容になるとコミュニケーションギャップが出てくるため、通訳・翻訳が必要となります。また、外国人観光客、特に庄内空港チャーター便が増加し、観光に関する通訳・翻訳の活動も多く行いました。

H23年度依頼された通訳・翻訳の言語は英語をはじめ、中国語、韓国語、ロシア語、ベトナム語、フランス語の6言語でした。国際村が多くの言語に対応できるのは大勢のボランティアのお陰です。外国出身者を含む地域の方々の協力がなければ国際村の在住外国人支援や多文化共生事業の実施は不可能です。皆さんのボランティア精神に感謝申し上げます。これからも引き続きご協力よろしくお願いいたします。



庄内空港での通訳

H23年度のコミュニティ通訳の活動・勉強会

国際村の通訳ボランティア「コミュニティ通訳」の会が発足してから8年目になりました。現在登録されている言語の数は7言語、英語、中国語、韓国語、タイ語、タガログ語、スペイン語、ロシア語です。また英語、中国語、韓国語では自主勉強会のグループもでき、言語グループごとに月に一度の自主勉強会を行っています。

去年は3. 11東日本大震災があり、災害時には情報伝達が命にかかわる大切なことだと強く感じさせられました。自主勉強会でも地震や火事などの災害に関する内容を取り入れました。また災害時の通訳対応の実践練習として、通訳ボランティアが外国出身者と一緒に、三川町にある「防災学習館」に行き、見学しながら通訳の練習もしました。

また、昨年度は山形県国際交流協会と当財団との共催で講師を招き、10月、12月、2月に3回の通訳ボランティア養成講座を開催しました。それぞれのテーマは「カルチュラル・トランスレーターを目指せ！」(グローバルレックス社・異文化ビジネスマネジメント研修コンサルティング・コーチ 村治孝浩氏)、「通訳・翻訳の基礎を学ぶ」(セクロー翻訳・通訳事務所・翻訳家/通訳 丸山清志氏)、「コミュニティ通訳者の役割」(東

京外国語大学 多言語・多文化教育センター特任講師(コミュニティ通訳論) 内藤稔氏)でした。参加者からは、いつもの自主勉強会と違いプロの先生に通訳者の役割や翻訳のスキルアップ方法、コミュニティ通訳の特徴などについて学ぶことができ、大変勉強になったとの声があり、有意義な講座となりました。

活動については、学校からのお便り等の翻訳のほか、三者面談、家庭訪問、病院での診査、台湾や香港からのチャーター便が庄内空港に来た時など、通訳ボランティアを紹介、派遣しました。

今後も通訳者のレベルアップを目指し、地域でより役に立つ活動を継続したいと思っています。皆様のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。



研修会の会場